

# Noti

## I. 認識配列

5'.....GC▼GGCC GC.....3'  
3'.....CG CCGG▲CG.....5'

## II. 保存

-20°C

## III. 活性定義

1 unit は、反応混合液 50 µl 中、1 µg の pB315DNA を 37°C、60 分間で完全に分解する酵素活性とする。

## IV. 起源

*Nocardia otitidis-caviarum*

## V. 形状

200 mM KCl  
10 mM Tris-HCl (pH 7.5)  
0.1 mM EDTA  
1 mM DTT  
0.2 mg/ml BSA  
50% Glycerol

## VI. 酵素反応条件

・反応温度 :37°C  
・バッファー :H  
+Triton

100 mM	NaCl
50 mM	Tris-HCl (pH 7.9)
10 mM	MgCl <sub>2</sub>
1 mM	DTT
0.01%	TritonX-100

## VII. 添付品

・10 x H Buffer (赤色ラベル)  
・0.1% TritonX-100  
添付反応バッファーは、酵素反応条件の 10 倍濃度です。  
制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

## VIII. 反応バッファー別相対活性

Buffer	L	M	H	A	B
相対活性 (%)	5	25	50	10	50

## IX. 純度

本酵素 20 units と 1 µg の pB315DNA を 37°C で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

## X. 結合試験

本酵素で完全に切断された pB315DNA フラグメントの 90% が T4 DNA リガーゼで結合され、そのうち 100% が本酵素で再切断される。

## XI. 備考

- ・酵素反応の際には、反応バッファーの他に別添付の TritonX-100 (0.1%) を反応容量の 1/10 量添加する。
- ・反応バッファー別相対活性表は TritonX-100 を反応系に加えていない。H Buffer に TritonX-100 を添加した場合の相対活性は 100% である。
- ・制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポンジーン ホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。  
医薬品の用途には使用しないでください。